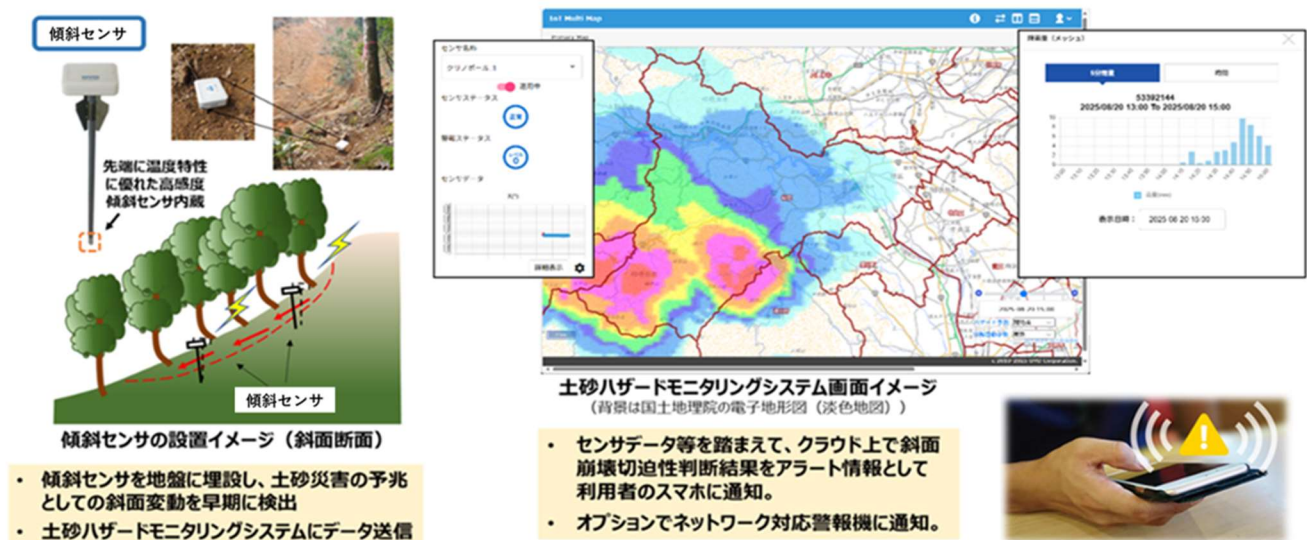


土砂崩れ対策の実証実験を開始します

この度、土砂災害から地域を守る新たな土砂崩れ対策の検討を目的とした実証実験を応用地質株式会社と開始しますのでお知らせします。

この実証実験は、応用地質株式会社が開発した「表層傾斜計センサー」と「土砂ハザードモニタリングシステム」を市内の土砂災害危険斜面に設置・運用し、斜面のモニタリングや土砂崩れの予兆を早期に検知する可能性を検証することを目的としています。

この実証実験を通じて、「土砂ハザードモニタリングシステム」の有用性を検証し、地域の防災・減災に役立つ新たな土砂崩れ対策の実施を目指します。



表層傾斜計センサーと土砂ハザードモニタリングシステムのイメージ

1 実証実験の期間

令和7年9月1日（月）から令和8年3月31日まで（予定）

2 実証実験における役割

相模原市：実証実験場所の提供、システムの試用、システムに対する意見、要望及び問題点の提示など

応用地質株式会社：表層傾斜計センサー・土砂ハザードモニタリングシステムの無償提供、同センサーの設置・メンテナンス、土砂災害の予兆に関する情報表示についての検討、新たな危機管理オペレーションの提案など

問合せ先

担当 危機管理統括部

電話 042-707-7044